

私ども名古屋港湾空港技術調査事務所では、以下の取り組みをはじめとする各種施策を通じて、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、港湾・海岸整備および港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



知ろう！伊勢湾の環境

海域環境の改善・持続に向け、環境に関する情報の共有化及び調査研究を推進させるための情報基盤として伊勢湾環境データベースを構築しています。

現在は、「誰も」が「公平」かつ「容易」に利用できるように、SDGsを観点とした環境学習コンテンツの検討やスマートフォンから水質定点観測データだけでなく、風向及び風速データも閲覧できるよう機能改良を進めています。

【目標】年間HP閲覧者数:2021年度 20,000人 → 2030年度 30,000人



伊勢湾環境データベースHP



水質定点観測スマートフォンサイト用 QRコード



学ぼう！沿岸海洋の防災

小学生を対象に総合学習時間を活用した防災教育の支援に取り組んでいます。事務所に併設している実験施設を利用した体験学習などを通じ、防災意識の啓発や沿岸防災の理解促進に繋げています。また、中部地方整備局が進める事業及び港湾・海岸施設の重要性を理解していただくために、一般の方からの施設見学を随時受け付けています。**【2022年以降の目標】のべ参加者数:2022年度 0人 → 2030年度 3,500人**

※現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般受付を停止しています。再開については、当所HPにてお知らせいたします。
HP: <https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>



小学生を対象とした防災学習の様子



施設見学の様子

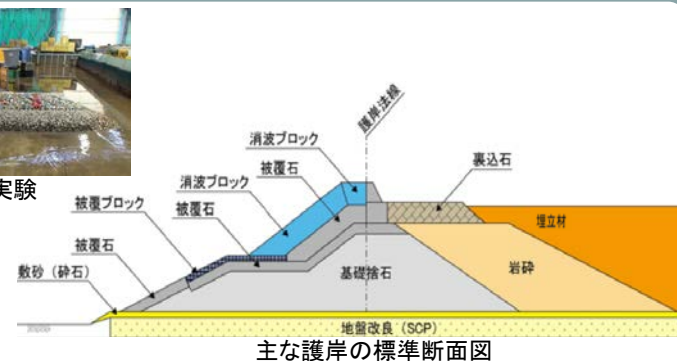


造ろう！気候変動に対応した港湾施設

近年、気候変動の影響と思われる高潮・高波等による災害の頻発化及び激甚化が進んでいます。これを受け、予測されている海面上昇も睨みながら、中部地方整備局にて施設整備を進めている護岸に対して、水理模型実験で越波量等を確認し、施設設計へ反映させています。また、中部地方整備局内の港湾施設において、今後、地球温暖化に伴う更なる潮位変動が生じた際も、対応できる構造となるよう検討を進めています。



水理模型実験



主な護岸の標準断面図